

# おける戦争について

## 会長メッセージ

### ウクライナにおける悲惨な戦争に対する 平和首長会議会長メッセージ

令和4（2022）年3月16日

平和首長会議会長  
広島市長 松井 一實

人類史上初めて原子爆弾により壊滅された都市の市長として、現在ウクライナの各地で行われている残酷な暴力行為を目の当たりにし、罪のない一般市民が再び戦禍に遭っていることに、深い悲しみを感じています。

この残虐な侵略とそれがもたらしている人道危機に対し、世界中のコミュニティが声を上げ、国連総会も強く、かつ正当に非難しました。

世界166か国・地域の8,000を超える加盟都市で構成される国際的ネットワークである平和首長会議を代表し、この痛ましい戦争の全ての犠牲者に心より哀悼の意を捧げるとともに、この殺戮行為を早期に終わらせ、平和的な復興を願う声を上げたいと思います。

世界のいかなる都市であろうと多くの市民が暮らす都市に対する爆撃や砲撃から目を背ける首長はどこにもいません。平和首長会議は、この紛争の平和的解決に向けた賢明な外交努力を求め、連帯します。正に武力紛争の最中こそ、平和を取り戻すための対話や外交が最も必要とされます。

この戦争の中で今、大量破壊兵器の中でも最も凄惨な被害をもたらす核兵器の使用の威嚇がなされていることに、落胆しています。このような威嚇行為は文明社会において容認されるはずがなく、また、わずか3か月前に核兵器国による共同声明の中で再確認されたばかりの「核戦争に勝者はなく、決して起こしてはならない」という認識と明らかに矛盾するものです。

このような現状を受け、核軍縮は今まで以上に喫緊の課題となったとの共通の認識を持ちましょう。日々私たちが目にしているとおり、核兵器はその保有者を壊滅的な戦争へと駆り立てるばかりで、安全保障に寄与することはできません。この悲惨な現況は、核兵器の完全廃絶に向けた法的禁止がいかに重要で緊急を要するか、示すものです。私たちは、全ての核兵器の脅威を断固として拒絶し、非人道的な結末をもたらす多くのリスクを伴うこのような兵器に対する強い懸念を表明しなければなりません。

これらの問題に対処するためにも、核兵器禁止条約の批准国拡大と核兵器不拡散条約が課している軍縮義務履行の促進に向け、一層の努力を重ねていきましょう。私たちにはもはや、時間の猶予はありません。



# ウクライナに 平和首長会議

ウクライナ情勢を受け、平和首長会議会長（広島市長）から、会長メッセージが发出されました。芦屋町もこのメッセージに賛同しています。

令和4年 3月17日  
芦屋町長 波多野 茂丸

## 平和首長会議とは

平和首長会議は、加盟都市同士で緊密に連帯し、核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起するとともに、人類の共存を脅かす飢餓・貧困などの諸問題の解消、さらには難民問題、人権問題の解決と環境保護のために努力し、世界恒久平和の実現に寄与することを目的としています。

令和4年3月1日現在の加盟都市数は、166カ国・地域 8065都市（国内1736都市）で、芦屋町も加盟しています。

## ウクライナ人道危機救援金を 受け付けています

令和4年2月からのウクライナ各地で激化している戦闘により、子どもを含む市民の死傷者が報告され、また、紛争の被害を恐れ、多くの人びとが周辺国（ポーランド、ルーマニア、スロヴァキアなど）に避難しています。

この状況を受け、町では、ウクライナでの人道危機対応とウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とそのほかの国々での救援活動を支援するため、海外救援金を募集します。寄せられた救援金は、日本赤十字社に届けます。

皆様のご協力をお願いします。

- ▷ 募金受付期限 5月31日(木)
- ▷ 義金箱設置場所 役場1階総合案内、2階総務課窓口、総合体育館、芦屋町図書館、芦屋東公民館、山鹿公民館、町民会館、芦屋釜の里、芦屋歴史の里
- ▷ 問い合わせ  
庶務係 (☎223-3572)

